

空畑遺跡（第5次） その7

【現地調査が終了しました】

空畑遺跡（第5次）発掘調査が終了しました。

今回の調査で、東海環状自動車道建設事業に伴う空畑遺跡の発掘調査はすべて終了となります。

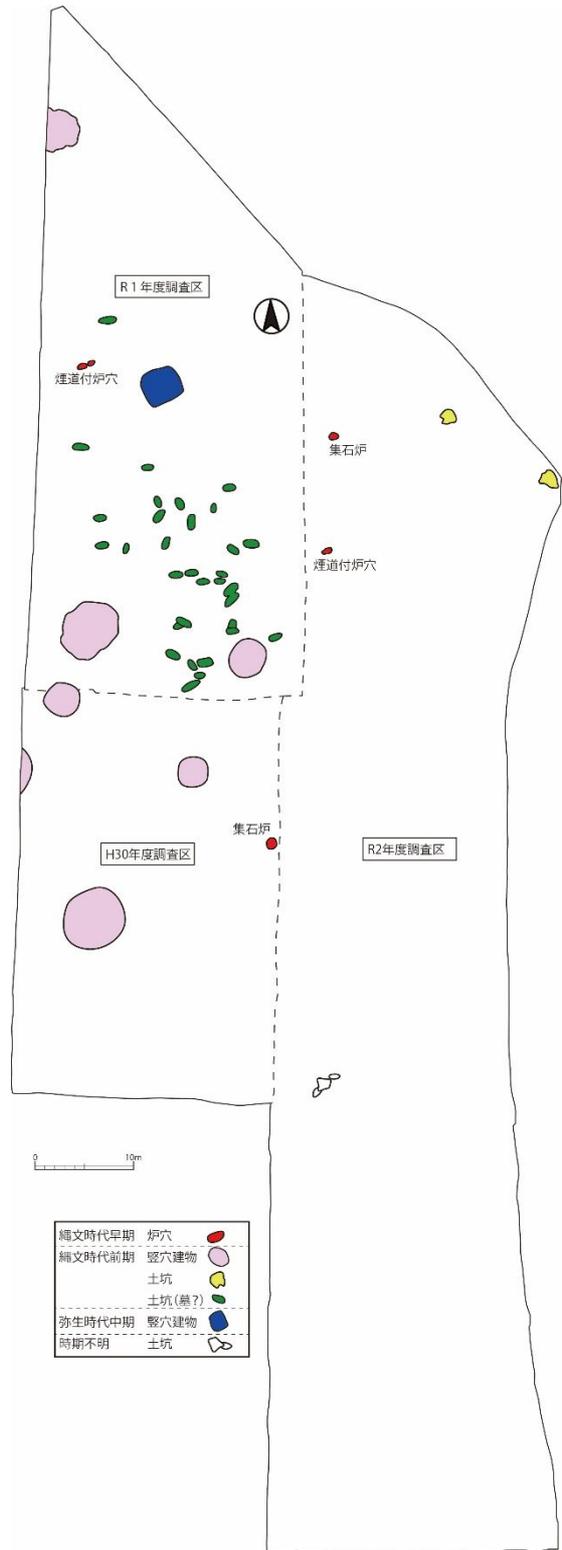
今後は出土した遺物や調査記録などを整理し、報告書にまとめる作業を進めていきます。

空畑遺跡の一連の調査による最大の成果は、縄文時代前期（約 6,000 年前）の竪穴建物（図中のピンク色）と墓の可能性の高い土坑群（図中の緑色）を確認できたことです。

県内では、これほどの規模・範囲で縄文時代前期の竪穴建物などが見つかった例は他になく、空畑遺跡は縄文時代前期の人々の暮らしや集落のようすを知るうえで欠くことのできない重要な遺跡といえるでしょう。

見つかった竪穴建物の配置をみると、集落はさらに調査区の西側に広がっていくことが予想され、集落の中心もそちら側にありそうです。

今回調査した範囲には東海環状自動車道が建設されますが、西側の発掘されていない集落の中心部はそのままの状態に残ります。今後も空畑遺跡が適切に保存され、有効に活用されていくことを期待します。



<問い合わせ先>

〒511-0415 いなべ市北勢町東貝野454番地

三重県埋蔵文化財センター - 調査研究4課 いなべ整理所

担当者：勝山孝文、松永達也

電話番号：0594 - 72 - 8955 FAX：0594 - 72 - 8970

e-mail：maibun@pref.mie.lg.jp